

英数学館中・高等学校オープンスクールや学校説明会等でいただいたご質問にお答えします！

Q1. 英語 DP と日本語 DP は、大学入試において、違いがありますか？英語 DP の方が枠が多い等のメリットがあるのでしょうか？

A. 国内の大学の場合差異はないと考えられます。海外の大学の場合、出願資格として差異はないと考えられますが、日本語 DP の場合、出願の際英語力を証明するものが求められたり、もしくは、入学後に英語の集中講義の履修が求められたりすることがあるかも知れません。ただ、国により大学により違いますので、各大学の募集要項を調べられた方がよいと思われま

Q2. 中学校で、在学中に IB Prep 2 から IB Prep 1 への変更といったような、クラスの変更ができますか？

A. 所属しているクラスの変更を希望される場合、クラス変更試験を受けていただきます。試験の結果やそれまでの学習状況から総合的に判断し、基準に達していると認められた場合、学年が上がる際に変更ができます。

Q3. 学習が遅れた場合、学校ではどのような対応がとられていますか？

A. 中学では、週に 1 回基礎力確認テストを行い、基準を満たさない生徒に対して補習や課題に取り組んでもらっています。また、宿題の提出ができない生徒についてはホームワークサポートという学習活動に参加してもらうことになっています。高校では、定期試験で基準に達していない生徒を対象に、学習内容を定着させるための課題に取り組む機会を提供しています。また、学習の遅れを防ぐために、担当の先生が細かく指示をし、図書室などで分からないところを教えるようにしています。

Q4. いじめなどの取り組み方については？

A. 本校では年間 3 回（7 月・12 月・3 月）、生徒と保護者対象にそれぞれいじめアンケートを実施しています。記名式なので書いている内容に対してすぐに担任や生徒指導部が聞き取りを行い、事実を確認の後指導をしています。アンケートだけに限らず日頃から生徒の言動に目を配り、小さな変化やトラブルに対しても同様に話しを聞き指導につなげています。併せてご家庭への連絡も行い、安心して学校生活を送ることができるよう連携を図っています。

Q5. 数学の内容について、IBクラスとアドバンストクラスでどのような違いがありますか？

A. 授業時間数については、大きな違いはありません。IBクラスでは、アドバンストクラスで学習する日本のカリキュラムに加えて、大学1年生で学習する内容が少し加わります。また、IBクラスの授業では、アドバンストクラスでは使用しない関数電卓を使用して問題を解いていく点が特徴的です。

Q6. 学業奨学生制度は3年間の継続ですか、それとも1年ごとの更新ですか？また、入学時に学業奨学生でない生徒が、在学中に学業奨学生になることはありますか？

A. 奨学生として相応しいかどうかは、年度末に審査を行います。基準は、学業成績や学習態度、生活態度が特に模範的であることです。成績不振などで基準を満たさないことが危惧される場合は、早い段階で保護者の方にお知らせして学習面や生活面の改善を促すことになっています。この学業奨学生については、基準に達していると判断されれば、進級の際に、新たに認定されることもありますので、ぜひ挑戦してみてください。

Q7. 最先端教育について、どんなことをしていますか？生徒の反応・成果は？外部から入学する生徒にも参加する機会は今後ありますか？

A. 本校では2020年の大学入試改革に対応した授業をすでに実施しております。皆様ご存知のように英語の4技能評価（読む・聞く・書く・話す）についてもネイティブ教員12名を配置し、いつでも校内留学ができる、生きた英語を話すことができる環境が整っています。他の高校には類をみない環境です。

また、アクティブ・ラーニングをすでに実践しています。生徒が自ら課題を発見し、探求していく態度を育てる事で、教師が一方向的に講義をする従来の形式とは違っています。

その代表的な一例が 国際バカロレア認定校ならではの最先端の教育法です。

外部の生徒の方も中学校入学、もしくは高校入学時にこのクラスに入るチャンスはあります。

詳しくは本校のホームページをご覧ください、入試説明会にご参加下さい。

たくさんのご質問をありがとうございました。ご質問やご意見・資料請求は、本校HPより受け付けています。お気軽にご相談ください。

資料請求（お問い合わせ）：<https://eisu-ejs.ac.jp/request/>